

しんぎよう

浄土真宗本願寺派（西本願寺）

真楽寺報

令和二年十一月

他力の信心うるひとを

うやまひおおきによるこべば

すなはちわが親友ぞと

教主世尊はほめたまふ

（親鸞聖人『正像末和讃』）

正嘉元年（一一五七年）閏三月

一日、八十五歳の親鸞聖人は三

十六首の『正像末和讃』の草稿

を書き終えられました。その頃、

聖人の門弟、下野国（栃木県）高

田の真仏上人は『西方指南抄』

を書写していました。親鸞聖人

のお師匠、法然聖人のお言葉、

行状などが綴られた書物です。

真仏上人は、前年の秋に数人の

同行とともに上洛したおり、『西

方指南抄』を親鸞聖人から与え

られていたようです。関東から

遙々旅をしてきた真仏上人に親

会いを有難く振り返っておられます。

今、真仏というお念仏をよろ

こぶ後進の友に、阿弥陀如来の

はたらきを姿で示して下さった

法然聖人の思い出を語りなが

ら、このみ教えを有縁の方々、

後の人々にもしつかりと伝えて

下さいと、仰ったのではないか

と思います。

その年の秋、高田に戻ってい

た真仏上人に宗祖は御消息（お

手紙）を書かれました。その中

に「信心をえてことによるこぶ

ひとは、積尊のみことには『見

敬得大慶、則我善親友』と説き

たまへり。」という文がありま

す。一切衆生を平等に救うとい

う阿弥陀如来のご本願に出遇つ

た人は、如来の智慧と慈悲をい

のちに響かせて、浄土への道を

歩みます。たとえ世界に火が満

ちようと必ず仏道を成し遂げ

る念仏の人を、「我が善き親し

い友」と積尊がたたえられるの

です。私が偉くなるのではなく、

如来の一方的なはたらきで、凡夫が凡夫の姿のままですとりの道を歩むのです。

しかし、かねて信心を慶ぶ人

は如来と等しいということは何

度も話して下さった聖人です

が、本願力を聞き入れない人の

中には、念仏を自分の手柄に思

ったり、逆に念仏称えたぐらい

で仏になれるものかと誹謗した

り、自他共に迷いに沈む人もあ

りました。その混乱の中で御教

化に勤しむ真仏上人に、宗祖は

励ましと労りの御消息を送られ

たのでしよう。

翌年三月八日、真仏上人は五

十歳で急逝されました。親鸞聖

人は大変お寂しい思いをなされ

たことでしょう。

この年九月二十四日に公にさ

れた『正像末和讃』には、二十

二首の和讃を加えてあり、その

中に冒頭の和讃が有ります。

「我が親友」という言葉には、

お同行に対する深い思いが込められてあるように思います。

◎秋の法要のお知らせ

下記の通り『秋の法要』をお勤めします。

今年の本法要御講師には、三重県四日市市正覚寺住職、内田正祥先生をお招きしています。晩秋のお聴聞のひとつときをお楽しみ下さい。

記

一、日時

十一月二十一日(土)

午前九時半～十一時半

納骨堂永代経法要

午後二時～四時

聞信会

十一月二十二日(日)

午前九時～九時半

初参式

午前十時～十一時半

聞信のついで

一、御講師

本願寺派布教使

内田正祥師

(三重県四日市市 正覚寺住職)

☆『納骨堂永代経法要』

納骨堂にご縁の方全ての仏徳を讃嘆供養する法要をお勤めします。納骨堂をご利用でない方も、どうぞ、ご一緒にお聴聞下さい。

☆『聞信会』

『浄土真宗入門講座』の受講者のためのお聴聞の会として始めた「聞信会」ですが、初めての方も、何方も、どうぞ御一緒にお聴聞下さい。

(尚、十四日に予定していました『聞信会』はお休みします。)

☆『初参式』 はつまいり

赤ちゃんが生まれてきて最初のお参りです。仏様のお慈悲に包まれて生きていく子供、そしてその親、あるいは祖父母としての新たな人生の出発を、如来様に奉告する式です。

受式のお子さんを募集しています。

御希望の方は十一月十四日(土)までに真楽寺にご連絡下さい。

☆『聞信のついで』

真楽寺が大村に御教化の営みを始めましてから三十七年の年月がたちました。そして、これまでに沢山の御門徒の皆様が、真楽寺にご縁を結んで下さいました。様々なご事情、それぞれに異なる歴史をかかえる皆様、真楽寺のひとつの本堂に集われる姿は、本当に不思議なご縁のはたらきとしか表現のしようがありません。

◎お知らせ

☆年末大掃除、餅つき

中止のお知らせ

毎年十二月二十九日に行っております大掃除、餅つきについて、今年はまだ新型コロナ感染症が治まっていませんので、中止に致します。

☆コーラスのついで

仏教讃歌を楽しむコーラスのついでを再開しています。次回は十一月十日(火)十時からです。

のいのちに連なる無数の先達や、法友のおはたらきがあったことでしよう。その御恩を蒙って、また、私たちが後の人々の法縁を紡ぐはたらきの中にあるのだと思います。

この仏法に出会い、み教えを聞き得たこと、そして、御報謝の営みを慶ぶ法要として『聞信のついで』をお勤め致します。

ご家族、法友、お誘い合わせてご参詣、お聴聞下さい。

毎月の行事案内 (一月、八月を除く)

◆月例法座

毎月第一日曜日 午前九時半より

◆家族礼拝

毎月第二日曜日 午前九時より

◆親鸞聖人御命日法要

毎月十六日 午前九時半

◆門徒会御法義歓談会

毎月十六日 御命日法要に引続き

◆聞信会

毎月第二土曜日 午後二時より

今月は二十一日(土)に変更します。

大村市木場一丁目八五番地二一
真楽寺 電話五二一五〇一八

